

いかに  
か  
ん  
る  
？



吉田傑のダンボールといきもの

2020.10.10【土】 - 12.13【日】  
苫小牧市美術博物館 企画展示室

開館時間 9:30 - 17:00 ※入場は閉館の30分前まで  
休館日 月曜日 ※11/23(月・祝)開館、11/24(火)が休館日となります。  
観覧料 一般300(240)円 高大生200(140)円 中学生以下無料  
※( )内の料金は10名以上の団体料金。  
※免除規定がありますのでお問合せください。  
※年間観覧券でもご覧いただけます。あわせて常設展、中庭展示も観覧できます。  
※11/3(火・祝)は無料観覧日となります(イベント等は実施しません)。

# ダンボールとはく製が織りなす、 空間のコラボレーション。

運搬や収納など、私たちの日常生活に欠かせない素材であるダンボール。

造形作家・吉田傑（1987～）は、そうした身近な素材を「日常の象徴」として捉え、

原寸大の動物を制作しています。体毛や肌合いなど、質感へのこだわりを

感じさせるその動物たちは、生き物としてのリアリティを保ちながらも、

あたたかみのある形態や表情にデフォルメされており、

見る者にやさしく穏やかな印象を与えます。

「紙のまち苦小牧」ならではの企画となる本展では、

ダンボールを素材とする吉田の動物や鳥類と共に、

はく製を紹介するコラボレーション展示をおこないます。

この機会に、展示空間を彩る動物たちのしなやかな存在感をお楽しみください。



## 吉田 傑 YOSHIDA Suguru

1987年北海道紋別郡遠軽町生まれ。

2019年札幌市立大学大学院デザイン研究科デザイン専攻修了。

2013年より、骨組み、筋肉といった構造や、毛並みなどの細部に至るまで、

すべてをダンボールによって構成する動物作品を制作しはじめる。

「神田日勝 × 吉田傑 ダンボール・アート『飛び出す！半身の馬』」（2019、神田日勝記念美術館）

に出品を果たし、神田日勝の絶筆《半身の馬》をモチーフとする立体作品を制作するなど、

活動の幅を広げている。2014年JRタワー ART BOX 一般公募 優秀賞受賞。

## 担当学芸員による展示解説会「スライドトーク」

本展および同時開催の中庭展示の展示内容について  
担当学芸員がスライドを用いてお話しします。

日時：2020年10月11日（日）

① 10:00-10:40 / ② 14:00-14:40

場所：当館研修室 参加料：無料

対象：一般25名 ※先着順。定員になり次第締切

【申込不要】直接会場にお集まりください。

※展示室へのご入場には当日有効の観覧券が必要です。

※感染症拡大防止のため、開館時間や入館時の  
受付方法などが変更となる場合があります。  
来館前に最新情報をご確認願います。  
また、対策の一環として本展では作品に  
触れることはできません。

## 苦小牧市美術博物館へのアクセス

●バス 苦小牧駅南口より、

のりば①から「24番」「30番」「札幌駅前行」

のりば②から「21番」、のりば③から「13番」に乗り、

「出光カルチャーパーク」で下車。

（所要時間約5分、料金210円）※下車後徒歩5分

●自家用車 国道276号（支笏湖通）と国道36号の

交差点（「苦小牧信用金庫中野支店かど」を

港方向へ曲がり、交差点の次の信号を右折。

出光カルチャーパーク内に駐車場有り。

（料金無料、約50台駐車可）



掲載作品 表：アンモナイト（2019）  
裏：アンナハチドリ（2017）  
S(h)ake!（2015）  
メジロ（2017）  
ガラパゴスゾウガメ（2016）  
ベニマシコ（2017）  
\*上から順に表記

## 【同時開催】

- 企画展「八王子千人同心と蝦夷地」
- 中庭展示 Vol.15「磯崎道佳」

## 苦小牧市美術博物館

〒053-0011 北海道苦小牧市末広町3丁目9-7

電話：0144-35-2550 FAX：0144-34-0408

<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan>

[www.facebook.com/tomakomai.museum](https://www.facebook.com/tomakomai.museum)

[twitter.com/tomakomai\\_amyu](https://twitter.com/tomakomai_amyu)

